

こわだニュースレター



つな かに 繋ぐ 緑の 花壇 くだん

平成5年4月29日(みどりの日)「死にひんしていた川の周辺を私達の手で見事に甦らせました」出来上がったのは茅ヶ崎市小和田池袋地区、幅約2mの川に暗橋を架けていただき、遊歩道にして東西両側の約120mに、ツツジ、八重桜、シバ桜等800本を植え「新宿草遊あらじゆくそうゆう会花壇かい」（仮称）を完成させました。

自治会の環境部を中心に資源回収で得た資金や婦人部結成を記念したフェスティバルの売上金等を充てました。この川はもともと農業用水路でしたが、生活廃水のみならずネズミの死骸、ビン、カンやあらゆるゴミの投棄場所となっていました。しかし、手入れの甲斐あって今では八重桜もすっかり成長し、見事な花を咲かせています。遊歩道の両側には四季折々、色とりどりの花が咲くようになりました。

当時の資源回収の様子➡

トラックの荷台が一杯に。



当時、私達が「遊歩道を潤いの空間に」との願いが実現しました。さらにベンチを購入し、今では憩いの場として利用者も多く、また地域の交流の場として大勢の人達に安心してご利用いただいています。

この花壇が出来てから神奈川県「みどりの実践団体」に登録しました。地域の環境美化を始め花壇の管理運営は草遊会を中心に自治会、子供会、新宿老人親腿会、更にご近所方々のご協力を得て、植付け、除草、花壇周辺の清掃等を行って、地域の景観を考えながらこの事業に取り組んでいます。毎年4月29日（緑の日）には、この花壇に於いて草遊会が主となり「草遊祭」を開催しています。

新宿自治会 白井精治氏より提供

(※紙面の都合により一部変更しました)